

## 業務用建物床面積の推移

平成26年度の業務用建物床面積は18億5,597万m<sup>2</sup>と推計された。伸び率は前年度比0.6%増となった。

「事務所ビル」の床面積は4億8,534万m<sup>2</sup>で、業務用建物床面積のうち最も高い構成比26.2%を占める。伸び率は前年度比0.4%増となった。事務所ビル全体の約8割を占める事務所・銀行(非木造)の床面積も、同0.3%増と増加を続けた。

「卸・小売業」の床面積は4億7,546万m<sup>2</sup>で、全体の25.6%を占める。伸び率は前年度比0.7%増となった。内訳では、卸・小売業の約85%を占める非木造の店舗は、同1.0%増と増加したものとの、木造の併用住宅は同2.0%減と引き続き減少している。

「学校・試験研究機関」の床面積は3億6,587万m<sup>2</sup>で、全体の19.7%を占める。伸び率は前年度比0.3%増となった。内訳では、大学が同1.5%増、保育所が同2.0%増とこの業種の中では堅調に増加している。一方、短期大学(同3.2%減)、高等学校(同0.1%減)は減少傾向が続いている。

他の5業種では、「劇場・娯楽場」の伸び率は前年度比0.3%増、「病院・診療所」は同0.6%増、「その他サービス業」は同2.2%増、となった。一方、「飲食店」は同0.1%減、「ホテル・旅館」は同1.1%減となった。

(岩田 創平)



